# 同窓会会報

発行
福島成蹊高等学校
同窓会
福島市上浜町5－10
電話（522）2049
発行人　石井　都
印刷所　㈲三共印刷所

『桃李祭』

## 同窓会に新風を

同窓会会長　石井　都
（昭和41年度卒）

会員の皆様には、ますますご清栄の事とお喜び申し上げます。

昨年一月三十一日同窓会室において、会をもっと知ってもらうためにクラス代表幹事の皆さんとの顔合せ会を行ないました。一クラス二名づつで今年は十一クラスありましたので二十二名の生徒さんが高校生活終盤の大切な時間をさいて来て下さいました。年々生徒さん達との距離間が近くなり始終和やかな空気に包まれて爽やかな笑顔を残しつつ会を終えました。そして迎えた二月二十八日の入会式。今年も無限の可能性を秘めた三五九名が入会しました。やがて、会の運営に携わってくれる事を熱望致しました。

六月二十五日総会・懇親会を行いました。総会のポスターを見て来て下さった方、毎年変らずの笑顔を見せてくれる卓球クラブの皆様、そして、平成二十八年度卒業のクラス代表幹事の七名が爽やかな笑顔のまま、ちょっと大人びた様子で来てくれました。アトラクションは吹奏楽部と合唱部のコラボ演奏を堪能しました。部員数の少ない合唱部ですが、直向きに歌うその姿に会場からは大きな拍手が沸き上がりました。吉田先生、摺出寺先生、各部の皆さん、ありがとうございました。更なる御活躍を楽しみにしております。

まだ暑さの残る九月十日、桃李祭が行なわれ資料展示室と同窓会室を開放して皆様をお待ちしました。大正時代の袴の制服に「着てみたい」と若い歓声があがり、また「すばらしい伝統校に孫は通っている事を改めて認識した」と語ってくれたその言葉に、感激と同時に、母校に相応しい会の運営により一層努力しなければと、強く念じました。

どうぞ皆様、今まで以上のお力添えを、よろしくお願いします。

# 平成二十九年度 総会・懇親会

## 鹿又 澄子
## 三浦 カネ
（昭和37年度卒）

半世紀以上経て、この度同窓会がある事を新聞で知り二人で出席させて戴きました。

年齢的にも知っている方々もおらず不安でしたが同窓会会長はじめ皆々様が暖かく声をかけて下さり楽しく過ごす事ができました。

恩師メッセージの中に当時お世話になりました諸先生方のお名前が載っており、いっきに半世紀前の女子高校生に戻った気持ちを持つ事ができました。これも出席の賜物です。

卒業してからクラス会は、昭和三十九年から二、三年時には五年後、平成十五年からは二年毎に開き今日に至ってます。

半世紀の間、母校は創立百周年を迎え、又成蹊学園は男女共学、中学校が新設され益々発展する母校を誇らしく思います。

最後になりましたが成蹊学園の発展と卒業生の心のより所となっている同窓会の繁栄を御祈念申し上げます。

## 清水 遥翔
（平成28年度卒）

同窓会総会に出席して、多くの先輩方と関わりを持てたことや、担任だった先生などと久しぶりにお話できたことがとても楽しく印象に残りました。懐しいお話や大学に入学後の生活の話ができて良かったです。今後は、同窓会幹事にとしての役職を再認識し、責任を持って活動していきたいと思いました。貴重な体験ができて本当に良かったです。

## 丹治 和菜
（平成28年度卒）

初めて同窓会総会に出席させていただき、どのような事を行っているのか知ることが出来た良い機会だと思いました。また、私が以前所属していた吹奏楽部の演奏や先生方にもお会いすることができ、とてもうれしかったです。

## 末永 祥栄
（平成28年度卒）

この度は、同窓会総会に参加させて頂き本当にありがとうございます。私は、男女共学の学年が普通であったため、まだ共学では無かったときの方々の貴重なお話を聴けて充実した一日となりました。久しぶりに先生方ともお話が出来て良かったです。

また、機会があったときは、参加させて頂きたいと思います。ありがとうございました。

# クラス会をひらいて

## 篠木 典子
（昭和55年度卒）

八月十一日に担任の長沢先生、他県から参加してくれた級友含め十六名でクラス会を開催しました。

再会した瞬間から学生時代に戻ったような顔でした。久しぶりに長沢先生にお会いしましたが、担任だった頃と少しも変わらない姿に驚きです。

クラス、部活、教科の話等懐かしい話に盛り上がり時が過ぎるのが早く感じました。

子育て、孫の世話、介護とまだまだ頑張らないといけない私達です。

次回は五年後、還暦です。今よりパワーアップした姿で会いましょう。

## 渡邉 葵
（平成18年度卒）

毎年GWに開催しているバーベキュー。今年は子連れ参加が五組いました。私も夫と三ヶ月の息子を連れて参加しました。

社会に出て家庭を持ち、集まることも少なくなりました。久しぶりにも関わらず心置きなく話せるのは、高校時代、共に切磋琢磨した仲間だから。

当日は雲一つ無い晴天となり、赤ちゃんには辛い日差しとなりました。次回はテントを買おう、と話しながら、来年は家族連れがもっと多くなるのかなと思い、より楽しみになりました。

## ご挨拶

理事長　高橋幸七

創立百五年の歴史を重ね、二万七千余名の有為なる人材を輩出して参りました学校法人福島成蹊学園の第十代理事長職を拝命し、四年目の年を迎えることが出来ました。

昨年度、準備期間も含め併せて七年間に及んだ創立百周年関連事業の全てを終え、本学園も新たな時代における新たな学園づくりの時期に入ったものと、必要とされる改革を含め諸事対応して参る所存であります。

本年度、新たな教育理念と教育目標を掲げるとともに、この四月に入学の生徒からコース建ても変更し、時代・地域、更にはグローバル社会のニーズに応え得る活力備えた私学として、新たな視点から次なる発展に努める覚悟です。

今後とも同窓会の皆様とともに、品格高き「桃李の人」の育成に努めて参りますので、更なるご厚情を切にお願い申し上げます。

## 『次の時代を見据え、大きくリニューアルを図りました』

校長　本田哲朗

同窓会の会員の皆様方には、常日頃、物心両面にわたるご支援を賜り、衷心から御礼を申し上げます。

時代は少子高齢化・国際化が急速に進む中、教育に求められるものも変遷します。この度、社会背景を真摯に受け止め、成蹊が大きく変わる事業を展開する事にしました。これまでの普通コースを文理選抜コースと普通コースに再編しました。また、特進コースの補講以後の時間帯をリニューアル致し、中高一貫コースは腰浜キャンパスで完結する事となりました。この事で、中・高共に、一層魅力あふれる質の高い教育の実践を行って参りますので何卒宜しくお願い申し上げます。

（尚、詳細はリニューアルされたホームページを参照して下さい。）

## 福島成蹊高等学校同窓会一般会計決算書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

1．収入金額 2,832,452　2．支出金額 1,612,996　3．差引金額 1,219,456

収入の部　（単位：円）

| 項目 | 本年度予算額 | 本年度決算額 | 増減 | 適用 |
|---|---|---|---|---|
| 会費 | 1,436,000 | 1,436,000 | 0 | 4,000×359人 |
| 運営協力費 | 124,760 | 124,760 | 0 | 27年度協力費より |
| 預金利子 | 500 | 23 | △477 | 普通預金・定期預金利子 |
| 雑収入 | 200,000 | 337,600 | 137,600 | 総会会費等・名簿売上等 |
| 繰越金 | 934,069 | 934,069 | 0 | 前年度より繰入 |
| 合計 | 2,695,329 | 2,832,452 | 137,123 | |

支出の部

| 項目 | 本年度予算額 | 本年度決算額 | 増減 | 適用 |
|---|---|---|---|---|
| 事業費 | 800,000 | 493,281 | △306,719 | 総会、研修会、桃李祭 |
| 会議費 | 100,000 | 56,501 | △43,499 | 役員会、幹事会 |
| 会報発行費 | 200,000 | 155,736 | △44,264 | 会報第22号 |
| 協力費 | 300,000 | 283,454 | △16,546 | 全国大会祝金、卒業記念品等 |
| 交誼費 | 50,000 | 19,493 | △30,507 | 慶弔費 |
| 通信費 | 400,000 | 228,130 | △171,870 | 切手、名簿補助等 |
| 旅費 | 0 | 0 | 0 | |
| 事務費 | 200,000 | 76,401 | △123,599 | 印刷費、事務用品等 |
| 特別積立費 | 300,000 | 300,000 | 0 | |
| 予備費 | 345,329 | 0 | △345,329 | |
| 合計 | 2,695,329 | 1,612,996 | △1,082,333 | |

特別積立金（平成29年3月31日現在）　7,443,225円
運営協力費（平成29年3月31日現在）　82,090円

上記帳簿及び関係書類について監査の結果正確であることを認めます
平成29年5月1日　会計監査　関根　綾子　渡邉八千代

## 会務報告

| | |
|---|---|
| **平成28年** | |
| 4月8日 | 入学式出席 |
| 9日 | 定例役員会 |
| | 会報第22号発送 |
| 28日 | 会計監査 |
| 5月14日 | 定例役員会 |
| 6月11日 | 墓参(初代・4代校長) |
| 12日 | 同窓会総会開催 |
| | (母校 ギター部演奏) |
| 7月9日 | 定例役員会 |
| 9月10日 | 定例役員会 |
| 11月12日 | 定例役員会 |
| **平成29年** | |
| 1月14日 | 定例役員会 |
| | 新幹事顔合わせ |
| 2月18日 | 定例役員会 |
| 28日 | 同窓会入会式 |
| 3月1日 | 卒業式出席 |
| | 会報第23号発行 |

# 三本柱のお店紹介

## 蓮沼　幹子（昭和39年度卒業）

●柳町富士屋・おぐら茶屋

私は成蹊学園家庭科を卒業して53年になります。今でも家庭科の専門的知識を学ぶことが出来誇りと思う日々、まだ現役で頑張っています。卒業後デパート中合に勤め、結婚後、実家を手伝う事で魚屋から料理仕出し業として超忙しい日々を過ごして来ました。子供も3人授かり育て上げ皆結婚し孫も5人になりました。今は息子夫婦が家を継いでくれて料理仕出し業を任せ頑張ってくれています。現在15年になりますが、社会的に地域との関わりを持つことが出来ればと「御倉邸」園内にあります「おぐら茶屋」を運営しています

当時は、好きな家庭科で学び、バスケット部でも励み楽しく過ごせました。

中・高一貫教育としての可能性と誇りある伝統の道筋を進まれることを願っております。

## 遠藤　涼子（昭和41年度卒業）

●珈琲の街

文化通り沿いのビル2階にある喫茶店『珈琲の街』一九七八年七月にオープンして三十九年皆さまのおかげで長期に渡り営業できております。

当時はコーヒー180円、サンドイッチ380円のみでしたが、今ではメニューも徐々に増えてオムライス、ハンバーグ、オムレツ、パフェ、ソフトヨーグルトと豊富なメニューも魅力です。なお季節限定で十二月末～六月頃まで苺パフェ、苺ヨーグルト、ハンバーグチーズオムレツセットがおすすめです。

これからも皆さまに愛されるようなお店でありたいと思っております。

## 八島　厚子（昭和53年度卒業）

●彩食美酒　小町

母校が成蹊といえる誇り、在校生も卒業生も何事も一生懸命に携わる日々の努力が実をつけているのです。

私は昭和53年度卒業し、現在四人の子育てを終え、平成28年2月に夢であった飲食店を市内新町に開店することができました。慣れない接客、旬の素材を生かしたメニュー作り、経営にと毎月自分なりの努力やスタッフの協力で、楽しみながら営業しております。

これまで多くの知人、友人そして出会った方々が、今のお店を支えて下さっております。人は宝です。感謝の気持ちを忘れず、これからも前へ前へと、食を通して福島を元気に、そして、お客様に美味しい料理を、くつろげる居場所作りに、努力して参りたいと思います。お待ち申し上げます。

## 益田　祥秀（平成23年度卒業）

●ふじや食材有限会社

高校時代の思い出は、カナダ研修旅行や特別進学コースで勉強に明け暮れたこと、その合間を縫って友人たちと趣味遊びに没頭したことです。担任の先生方に加え東畑重子先生には大変お世話になりました。

おかげさまで福島大学へと進学することができ、家業を手伝う側らサークル活動やアルバイトなど充実した大学生活を送ることができました。

現在は福島大学を卒業し、家業に貢献できるよう半人前にも至りませんが日々精進しています。

# 卒業生のお店紹介

## 須田カヨ子（昭和41年度卒業）

### ●野の花 離宮 蔵室宮（くらしっく）

福島市岡部の自宅敷地にあった築百二十年の蔵を改築した二階建てのお店は、一階は和室、二階は洋室となっています。マスターが高校生の時から考えていた名前をつけて十年前にオープンしました。

日本庭園のような広い庭には桜・紅葉・椿など四季折々の花が楽しめ、室内には昔からの時計や囲炉裏があり、天井には雪見障子を飾り、とても落ち着ける空間です。敷地内には茶室もあり、ご法要も受け付けています。

また、マスターは茶道裏千家の准教授でもあり、一回千円で教室も行いますのでご予約ください。

定休日は月・火・水ですが、予約に合わせて営業もしますので、事前にご連絡ください。予約の際には、成蹊高校の同窓生と申し添えて下さい。

## 佐藤　真紀（昭和56年度卒業）

### ●カフェ つぶっこ

東日本大震災後、宮城県で唯一放射能汚染区域に指定され風評被害にあっている夫の故郷の丸森町を、元気にしようと内閣府の復興支援金で立ち上げたカフェつぶっこです。心よろこぶ・体よろこぶをコンセプトに、食材王国みやぎ地産地消推進店の認定を受けて地場産の食材をふんだんに使用して作る、つぶっこご膳。自家栽培のブルーベリーを使用したケーキや飲み物、地元産の雑穀を使用したパンや菓子を提供しております。また、訪れて下さった方々に、元気になって頂きたい思いから、さまざまなイベントを開催し、高評頂いております。卒業後、いつも私の中にありました「桃李無言下自成蹊」のようになったら良いなあと思い、日々展開しております。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

## 佐藤いくみ（昭和58年度卒業）

### ●ハニーカフェ ビードル

小学生からの夢は、大鍋を一生懸命混ぜてる「給食のおばちゃんになる」でした。

中学でテニスに出逢い、進学は、当時県トップクラスだったテニス部のある成蹊に入学。在学中は、喜古佐太郎先生指導の下、テニスに明け暮れる日々を過ごしてました。

卒業してからテニスのインストラクター、飲食店を経て、ハニーカフェ『ビードル』を任される事になり、随分オシャレになりましたが、小学生からの夢が叶いました。

オープン当初から、成蹊生にも来店頂いております。ささやかではありますが、卒業生、在校生の方にお礼をしたいと思います。来店時に声をかけて下さい。終わりにこの様な機会を与えて下さり、同窓会の皆様に感謝致します。ありがとうございました。

| | |
|---|---|
| ●柳町冨士屋 | 住：福島県福島市柳町3-25　電：024-522-3472　営：9:00～18:00　休：火曜日 |
| ●おぐら茶屋 | 住：福島市御倉町1-78 御倉邸庭園内　電：024-522-2390　営：10:30～16:00　休：火曜日 |
| ●珈琲の街 | 住：福島県福島市大町2-14 加藤ビル2F　電：024-523-4388　営：11:00～20:00（19:00日・祝）LO　11:00～15:00ランチ平日限定　休：無休 |
| ●彩食美酒 小町 | 住：福島県福島市新町1-12　電：024-573-5888　営：17:00～23:00(22:00LO)　休：日曜日・一部祝日 |
| ●ふじや食材有限会社 | 住：福島県福島市仲間町6-15　電：024-522-9381　営：8:00～18:00　休：日曜日・祝日 |
| ●野の花 離宮 蔵室宮 | 住：福島県福島市岡部字上条33　電：024-535-0856　営：11:00～17:00（18:00～21:00 予約のみ営業）休：月～水曜日 |
| ●カフェ つぶっこ | 住：宮城県伊具郡丸森町大張川張字福岡62　電：0224-51-9350　営：10:00～15:00　休：木・金曜日 |
| ●ハニーカフェ ビードル | 住：福島県福島市新町6-33　電：024-535-0832　営：11:30～19:00　休：水曜日・祝日・8月15・16日 |

## 平成二十九年度進路状況

進路指導部部長　増子　裕一

今年度の入試は国公立大学の改組や改革が進み、心理・国際・情報・医療系の新設が進みました。高大接続改革の伴う動きとして、多面的評価の拡大、面接・小論文導入、英語資格・検定試験活用の拡大がありました。このような流れは本校生にも影響を与えていますが、生徒・保護者・教員と連携をしっかりと取りながら進路活動を進めてきました。

2学期から本格的にスタートした推薦・AO入試で特筆すべきは、福島大にAO入試で3名、推薦入試4名が合格しました。都留文科大には2名が出願し、2名とも合格しました。山形大に1名、富山大にも1名合格しています。私立大学では、慶應義塾大、成蹊大、東北医科薬科大などに普通コースから合格しています。日本大や武蔵野大、白鷗大には二桁の合格者数に届いています。今後は一般受験で一貫・特進コースとともに多くの生徒の合格が見込まれます。3月6日からは国公立大学の前期試験合格発表が行われます。短期大学や専門学校でも多くの合格者が出ています。就職面では公務員試験において、年々合格者数の増加があり、今年度は最多の7名の合格がありました。JA新ふくしまは2名が受験し、2名とも内定しました。地道な学習の成果になります。今後も100%内定を目標に生徒を支援してまいります。

## 平成29年度 進路状況

平成30年2月19日現在（一部の学校のみ記載）

| | | |
|---|---|---|
| 国公立大 | 12名 | 福島大7名、山形大、秋田大、富山大、都留文科大2名 |
| 文部科学省管轄外の大学校等 | 9名 | 防衛医科大学校2名、防衛大学校7名 |
| 私立大 | 276名 | 慶應義塾大、上智大、明治大2名、法政大、学習院大、中央大2名、同志社大、立命館大2名、成蹊大7名、東京女子大、日大19名、東洋大3名、駒澤大、専修大5名、近畿大、北里大、東邦大、女子栄養大1名、芝浦工業大12名、國學院大、玉川大3名、武蔵野大17名、国際医療福祉大14名、東北医科薬科大3名、東北学院大17名、東北福祉大2名　神奈川大22名、白鷗大17名　ほか |
| 短期大学 | 22名 | 桜の聖母短大11名、福島学院大学短期大学部3名、郡山女子大短期大学部2名　ほか |
| 看護医療専門学校 | 19名 | 大原看護専門学校3名、太田看護専門学校、ポラリス保健看護学院、福島看護専門学校2名、福島県立総合衛生学院5名　ほか |
| 専門学校 | 30名 | 神田外語学院、国際医療看護福祉大学校4名、県高等理容美容学院　ほか |
| 就職内定者 | 12名 | 福島県警察官B2名、警察事務、海上自衛官2名、自衛官一般曹候補士、自衛官候補生、JAふくしま未来2名　ほか |

## 平成28年度 合格状況

（一部の学校のみ記載）

| | | |
|---|---|---|
| 国公立大 | 44名 | 福島県立医科大医学部2名、東京工業大、東北大2名、埼玉大2名、宇都宮大、群馬大、信州大、北海道教育大2名、新潟大2名、岩手大、山形大2名、福島大16名、首都大学東京、高崎経済大　ほか |
| 文部科学省管轄外の大学校等 | 12名 | 気象大学校、防衛医科大学校医学科、防衛大学校9名、海上保安大学校 |
| 私立大 | 374名 | 慶應義塾大2名、早稲田大2名、上智大、東京理科大6名、国際基督教大、明治大5名、法政大12名、学習院大2名、青山学院大、中央大12名、立命館大、成蹊大4名、成城大2名、明治学院大3名、東京女子大4名、獨協大6名、武蔵大、玉川大2名、北里大2名、日本大20名、東洋大11名、駒沢大、専修大3名、昭和大医学部、東北医科薬科大、国際医療福祉大10名（医学部1名）、東北学院大20名、東北福祉大8名　ほか |
| 短期大学 | 33名 | 会津大学短期大学部、桜の聖母短大21名、福島学院大学短期大学部2名、郡山女子大短期大学部2名　ほか |
| 看護医療専門学校 | 16名 | 大原看護専門学校4名、太田看護専門学校3名、福島看護専門学校3名　福島県立総合衛生学院2名　ほか |
| 専門学校 | 55名 | 東北大学歯学部附属歯科技工士学校、日本外国語専門学校2名、福島県立テクノアカデミー会津　ほか |
| 就職内定者 | 12名 | 東京消防庁、福島県警察官3名、自衛官一般曹候補生2名、小関小児科病院、（株）ヤクルト本社福島工場　ほか |

## キャンパスライフ

福島県立医科大学医学部

**二瓶　優歩**（平成28年度卒）

私は今勉強に加えて部活動にも励んでおり、日々充実した大学生活を送っています。勉強が辛いこともありますが一貫コースで六年間仲間とともに努力したことが自信につながっており、乗り超えることができていると思います。

これからも福島成蹊学園の卒業生の誇りを持って、医師になるために日々頑張っていきます。

**内山由美子**（平成28年度卒）

私は今、福島県立医科大学の医学部に通っています。大学では、勉強や部活動など充実した学校生活を送っています。一般的にイメージされている大学生とは違い、朝から夕方まで講義があります。一年生のうちは生物学など基礎的なことが主ですが、病院見学に行ったり、医療福祉施設に実習に行かせて頂くこともあり、大変勉強になります。

# クラブ紹介

特別活動部部長　鈴木　祥之

本校では、運動系が11・文化系が16、合計27の多様なクラブが活動しています。普通コースのクラブ加入率は9割を超え、中には兼部している生徒もいます。運動系では、陸上競技クラブ・水泳クラブが南東北インターハイへの出場を果たし、全国大会出場記録を更新しています。その他の個人・団体競技クラブも着実に成績を伸ばしており、殆どが県大会への出場を果たしています。生徒・顧問ともに更なる飛躍・向上を目指し、夜遅くまで練習に励んでおります。また、クラブ活動を後押しする学園側の体制も拡充しているところです。文化系クラブでも、ギター部の全国大会三年連続金賞受賞、吹奏楽部の県大会上位入賞、自然科学部の優秀な研究成果、ボランティア活動への積極的参加など、活気ある活動を展開しています。個人でも将棋やボクシングでの活躍等、特筆すべき成績を残しています。

## 女子バスケットボール部

顧問　伊澤　充

一人一人のレベルアップがチームのレベルアップにつながるものと考え、チーム全員で上達できるよう日々練習に励んでいます。礼儀、規律、思いやり、諦めずにチャレンジする心などバスケットボールを通して、人間力を高めることも大切にしています。今年度の戦績は、県北大会準優勝、県大会ベスト8でした。今年度は全国インターハイが福島市で開催され、本校も試合会場になりました。平成11年から全国大会は遠ざかっていますが、またいつか全国の舞台に立てるよう、夢に向かってチャレンジを続けていきます。

## アニメーション部

顧問　安藤　信子

今年は20名の生徒が活動をしています。イラストはもちろん、動画や小説などの分野にも取り組む生徒もいて、活動の場を広げています。主に、桃李祭や成蹊展で自分たちの作品を展示して外部の方にも見ていただいていますが、今年はオープンスクールに参加した中学生のみなさんに自分たちの活動を体験してもらい、一緒にアニメを描いてラミネートカードやプラ版を作ったりして、楽しんでもらうことができました。

## 社会研究部

顧問　古賀　雅

わたしたち社会研究部は3年生1名と2年生2名で活動を行っています。今年は環境甲子園への作品出品や、県主催のスマホの適正利用に向けた高校生サミットへの参加など幅広い活動を行いました。

また、地域ボランティアへの参加や調査活動なども行っています。これからも積極的に地域の皆様との交流を行いながら活動に励んでいきたいと思います。

## 合唱部

顧問　伊東　美佳

合唱部は、4人という少ない人数ではありますが、「四人一声」を活動目標に日々活動しております。これは4人それぞれが自分の声に責任を持ち、ひとつのハーモニーを奏でるということです。生徒たちが自ら考えました。その目標を実現するために、発声練習はもちろん、筋トレにも積極的に励んでおります。

また、合唱を披露する機会も多くいただき、今年度の同窓会総会では、吹奏楽部とともに発表をさせていただきました。これからも「四人一声」を忘れることなく、生徒と共に頑張りたいと思います。

# 校歌

作詞　坂内　萬
作曲　古関　裕而

わが学び舎の
名もゆかし
桃李の花の
匂へれば
ものいはねども
慕ひくる
かげやこみちと
なりぬべき

金剛石の
みさとしに
阿武隈川の
よどみなく
進みゆく世に
遅れじと
いそしむ技の
楽しさよ

## 新幹事

一組　熊田七彩
二組　永井明宏　柴田大暉　山本紗瑛
三組　齋藤龍一
四組　佐藤大凱　馬目綾音
五組　佐藤祐希奈　柏木葵心
六組　佐久間勇斗　大滝翔子
七組　菅野ひより　池田美穂
八組　遠藤奈那　菅野諒
九組　佐藤昂　二瓶未紗希
十組　清野尚輝　興石日菜子　小林礼人

## 同窓生の活躍

### 斎藤　綾子（昭和61年度卒）

サッカー日本女子代表監督高倉麻子さん（昭和61年度卒）のトークショーに同級生と出席しました。過密な日程ということで、短時間でしたが、久しぶりの再会を喜び合いました。同窓会からの花束を贈呈し、とても喜んでくれました。今後も益々の活躍を応援しています。

### 八巻　雄飛（平成25年度卒）

私は第94回箱根駅伝に国士舘大学の2区で出場しました。エース区間でありプレッシャーもありましたが100％の力を出すことができました。春からは実業団に進みさらに上のステージを目指していきます。

最後に、福島成蹊高校同窓生の皆さんのご活躍を期待しております。

## 平成30年度 総会のお知らせ

- 日　時／平成30年6月24日（日）
  午前10時30分～
- 場　所／ホテル福島グリーンパレス
- 内　容／総会 懇親会
  （アトラクション：ギター部）
- 会　費／4,000円
- 問合わせ先／福島成蹊高等学校 同窓会事務局
  TEL 024-522-2049

～この場を利用してミニクラス会等を開いてみませんか？～

## 事務局だより

会報24号は昭和51・61・平成16・19年度卒業の皆様に送付いたします。今後も卒業年度を追って順次送付する予定です。皆様にご協力いただきました運営協力費は会報送付等に使わせていただいております。引き続きご協力お願いいたします。

また、クラス会開催の際は、名簿を事務局に提出して下さい。通信費として二千円を補助いたします。

## 追悼

平成29年7月31日
事務局　寺島白龍　様（平成18年度卒）
ご逝去されました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

## ◆退職される先生方◆

教諭　元木雪恵
教諭　二瓶泰裕
教諭　秋田悠里

## 編集後記

今回の特集は、卒業生のお店紹介にいたしました。まだまだ紹介しきれないお店がたくさんあります。順次、掲載する予定です。皆様の情報をお待ちしております。